

埼玉大学学生・教職員のみなさん

本年 7 月上旬に本学学生 1 名に結核発症が発見されました。

当該学生は治療を開始し、今後埼玉大学構内で当該学生から感染する恐れはないと思われます。

ただし、念のため 2 週間以上続く咳や痰、または発熱などの症状が見られた場合は病院を受診し、結核も視野に入れた治療を受けて下さい。

診療した医師が必要とした場合には、血液検査（QFT など）胸部レントゲン検査なども受けるようにして下さい。

平成 26 年 7 月 9 日

保健センター長

関 直彦

【 まめ知識 】 肺結核ってどんな病気？

結核菌が侵入して肺に炎症が起きる細菌性の感染症です。

この菌は、感染者が咳やくしゃみをするると飛び散り、それを吸い込むと感染(飛沫感染)します。インフルエンザのように側にいるだけですぐに感染するものではありませんが、一緒に生活したり、長時間一緒にいると感染する恐れがあります。最も怖いのは、発見が遅れたために集団感染が起きることです。

主な症状は、発熱、咳、痰です。ですから、風邪と一緒に症状です。普通の風邪と違うのは、微熱、咳と痰がいつもでも続くことです。この症状が2週間以上続いている場合は、肺結核を疑って検査することをお勧めします

【 ヘルスチェック 】 さて、あなたはこんな症状がありませんか？

- ① 咳が長い間続いている
- ② 疲れやすい
- ③ 微熱気味
- ④ 寝汗をかく
- ⑤ 痰がよく出
- ⑥ 息切れする
- ⑦ 胸が痛む
- ⑧ 体重が減ってきた
- ⑨ 食欲があまり無い

心当たりのある人は、医療機関等へ！！

♥♥ 保健センター ♥♥

048-854-5356



平成26年7月9日